

		科目No.	46
大学・短大名	宮城学院女子大学	学部・学科	学芸学部・日本文学科
授業科目名	大学で学ぶ「文学・語学」入門 -「羅生門」を読む-	担当教員名	深澤昌夫、笠間はるな 菊地恵太、千葉幸一郎
開講期間	6月29日(土)、7月6日(土)、7月13日(土)、7月27日(土)	開講曜日・時間	13:00~14:00
受入人数	対面40人 オンライン無制限	会場	宮城学院女子大学
公開授業・公開講座の形態(①~③から1つ選択し○をつける)	①対面のみ                      ②オンラインのみ                      ③対面・オンラインどちらでも可		
②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等	Zoom		
授業の目標等	<p>皆さんは『言語文化』の教科書で芥川龍之介の「羅生門」を学んでいると思います。今回の連続講座では、4人の教員がそれぞれの専門の立場から「羅生門」の授業を行います。大学ではどういうところに注意して読んでいくのか、語学や文学の研究ってどういうものなのか、高校までの「国語」とはいったい何が違うのかを理解していただきたいと思います。</p>		
授業内容・計画等	<p>①6/29 「作者」って誰？(千葉幸一郎) ②7/6 今昔物語集と「羅生門」(深澤昌夫) ③7/13 「羅生門」の誕生 一推敲過程をたどる一(笠間はるな) ④7/27 「羅生門」のことば探究(菊地恵太)</p>		
テキスト・教材・参考書等	『言語文化』の教科書、国語辞典(電子辞書可。できれば紙のもの)をご持参ください。		
履修上の注意	<p>オンラインで受講する方はZoomが使えるネットワーク環境を準備してください。 全ての授業に参加していただくのが難しければ、興味があるもの1つでも構いません。 受講者としては高校生および高校の先生方を想定しています。</p>		
高校生へのメッセージ等	<p>教員から受講者への一方通行の「講義」ではなく、皆さんに手や口を動かしていただきながら、一緒に授業を作りたいと思います。積極的に発言していただければ幸いです。</p>		

(様式2)

## 令和6年度公開授業・公開講座用シラバス

		科目No.	47
大学・短大名	宮城学院女子大学	学部・学科	学芸学部・人間文化学科
授業科目名	アジアの女性	担当教員名	杉井信、八木祐子
開講期間	6月1日	開講曜日・時間	13時～15時10分
受入人数	40人	会場	宮城学院女子大学
公開授業・公開講座の形態(①～③から1つ選択し○をつける)	①対面のみ	②オンラインのみ	③対面・オンラインどちらでも可
②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等	zoom		
授業の目標等	<p>アジア各地の女性の生き方や考え方について理解を深めることを目標とします。授業は随時みなさんとの意見交換を交えながら進め、質問なども受け付けます。グローバル化が進み、さらなる活躍が期待される現代社会の女性について、一緒に考える機会にしていきたいと考えています。</p>		
授業内容・計画等	<p>人間文化学科教員が、専門領域とする東南アジア地域研究・南アジア地域研究について、「女性」をテーマに講義を行います。講義は全2回、各90分の予定です。大学の授業がどのようなものか、経験する良い機会にもなると思います。</p> <p>&lt;6月1日&gt;</p> <p>①杉井信「暮らしと社会を支えるフィリピンの女性たち」</p> <p>②八木祐子「変わるインド社会と女性」</p>		
テキスト・教材・参考書等	<p>テキストは特にありません。必要な資料を授業内で配布します。参考図書なども授業の中で紹介します。</p>		
履修上の注意	<p>高校で地理や世界史を履修していなくても良いですが、興味関心を持って参加してください。オンラインで参加する人は、zoomが利用できるようにパソコンやネットワーク環境を整えておいてください。みなさんとコミュニケーションを取りながら、楽しい授業にしていきたいと思います。</p>		
高校生へのメッセージ等	<p>社会の教科書には出てこない、知られざる女性の姿もお話します。海外の女性の生き方から学び、豊かな視点を養って、これからの女性について考えていきましょう。</p>		

(様式2)

## 令和6年度公開授業・公開講座用シラバス

		科目No.	48
大学・短大名	宮城学院女子大学	学部・学科	学芸学部・人間文化学科
授業科目名	女性史に触れてみよう	担当教員名	今林直樹、高橋陽一
開講期間	8月17日	開講曜日・時間	13時～15時10分
受入人数	40人	会場	宮城学院女子大学
公開授業・公開講座の形態(①～③から1つ選択し○をつける)	①対面のみ	②オンラインのみ	③対面・オンラインどちらでも可
②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等	zoom		
授業の目標等	<p>歴史上の女性の生き方や考え方について理解を深めることを目標とします。授業は随時みなさんとの意見交換を交えながら進め、質問なども受け付けます。過去をひもとき、知ることを通し、現代社会の女性について一緒に考える機会にもしていきたいと考えています。</p>		
授業内容・計画等	<p>人間文化学科教員が、ヨーロッパ史と日本史について、「女性」をテーマに講義を行います。講義は全2回、各90分の予定です。大学の授業がどのようなものか、経験する良い機会にもなると思います。</p> <p>&lt;8月17日&gt;</p> <p>①高橋陽一「江戸時代の女性旅」 ②今林直樹「マリー・アントワネットとフランス革命」</p>		
テキスト・教材・参考書等	<p>テキストは特にありません。必要な資料を授業内で配布します。参考図書なども授業の中で紹介します。</p>		
履修上の注意	<p>高校で世界史や日本史を履修していなくても良いですが、興味関心を持って参加してください。オンラインで参加する人は、zoomが利用できるようにパソコンやネットワーク環境を整えておいてください。みなさんとコミュニケーションを取りながら、楽しい授業にしていきたいと思っています。</p>		
高校生へのメッセージ等	<p>社会の教科書には出てこない、知られざる女性の姿もお話します。過去の女性の生き方から学び、豊かな視点を養って、これからの女性について考えていきましょう。</p>		

(様式2)

## 令和6年度公開授業・公開講座用シラバス

		科目No.	49
大学・短大名	宮城学院女子大学	学部・学科	学芸学部・人間文化学科
授業科目名	高校生のための古文書講座	担当教員名	高橋陽一
開講期間	8月23日、30日、9月7日	開講曜日・時間	17時～18時
受入人数	40人	会場	宮城学院女子大学
公開授業・公開講座の形態①～③ から1つ選択し○をつける ②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等	①対面のみ	②オンラインのみ	③対面・オンラインどちらでも可
zoom			
授業の目標等	<p>昔の日本語に触れ、少しだけ読めるようになることを目指す授業です。江戸時代や明治時代の文献(古文書)は、特有の続け字である「くずし字」で書かれており、現代のほとんどの日本人は読めません。この授業では、江戸時代の子どもたちが学校(寺子屋)で読んでいた教材をテキストに、くずし字や当時の文体の読み方を学びます。過去の人が書いた文献に興味があるけど、読んだことがない。読めない。そんなみなさんの参加をお待ちしています。</p>		
授業内容・計画等	<p>『松島往来』(文化13年&lt;1816&gt;)というテキストを読んでいきます。江戸時代の松島旅行をモチーフにした教材です。当時の子どもたちが読んでいたもので、仙台近辺の地名や名所旧跡も登場するので、親しみやすいと思います。受講者を指名し、読んでもらいながら授業を進めます。初級者向けを想定していますので、読むスピードはゆっくりです。内容の解説も行います。</p>		
テキスト・教材・参考書等	<p>受講者には事前にテキストを送ります。その他、必要な資料は授業内で配布します。参考図書なども授業の中で紹介します。くずし字とは何なのか、どんなものを読むのか、受講前に知りたい人は以下のURLにアクセスし、「古文書・くずし字 ことはじめ」を視聴してみてください(宮城学院女子大学のYouTubeチャンネルからご覧になれます)。            古文書・くずし字ことはじめ1限目 <a href="https://www.youtube.com/watch?v=rhbVOUStMH8">https://www.youtube.com/watch?v=rhbVOUStMH8</a>            古文書・くずし字ことはじめ2限目 <a href="https://www.youtube.com/watch?v=YA_gzySTZ64">https://www.youtube.com/watch?v=YA_gzySTZ64</a>            古文書・くずし字ことはじめ3限目 <a href="https://www.youtube.com/watch?v=f21LbPI7hxM">https://www.youtube.com/watch?v=f21LbPI7hxM</a></p>		
履修上の注意	<p>高校で世界史や日本史を履修していなくても良いですが、興味関心を持って参加してください。また、zoomが利用できるようにパソコンやネットワーク環境を整えておいてください。オンラインですが、通常の授業と同じように受講者を指名してテキストを読んでいきますので、顔を出して話をするつもりで臨んでください。みなさんとコミュニケーションを取りながら、楽しい授業にしていきたいと思ひます。</p>		
高校生へのメッセージ等	<p>現在の日本では、英語を読める人よりも昔の日本語を読める人の方が少ないです。みなさんには、今回の授業をきっかけに古文書に関心を持ってもらい、日本の伝統文化の継承者になってもらいたいです。ちなみに、授業内容は古文の勉強にもなりますよ。</p>		

(様式2)

## 令和6年度公開授業・公開講座用シラバス

		科目No.	50
大学・短大名	宮城学院女子大学	学部・学科	学芸学部 心理行動科学科
授業科目名	高校生のための心理学講座	担当教員名	大橋智樹、木野和代、浅野晴哉
開講期間	11月30日	開講曜日・時間	13時～16時
受入人数	40人程度	会場	フォレスト仙台(宮城県教育会館) 第10会議室
公開授業・公開講座の形態(①～③から1つ選択し○をつける) ②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等	①対面のみ	②オンラインのみ	③対面・オンラインどちらでも可
授業の目標等	この講座では異なる専門をもつ3人の心理学者が産業・経営心理学、犯罪・臨床心理学、感情心理学の立場からお話しをします。多岐にわたる心理学の領域についての理解を深めることを目標とします。		
授業内容・計画等	3つの心理学の領域についてそれぞれの専門家が講義を行います。 大橋 智樹: 産業・経営心理学-ヒューマンエラーはなぜ起こるか- ヒューマンエラーが原因の事故はなかなか減りません。本講では、ヒューマンエラーが起こる理由を体験的に学び、人間が自然に振る舞えばエラーは起こるということを学び、さらに、エラー対策が一筋縄ではいかない理由もお話します。心理学を用いてどのようにしてエラーを防ごうとしているのか、考えてみましょう。 浅野 晴哉: 犯罪・臨床心理学-加害者・被害者・第三者の関係- 犯罪や非行は未だ後を絶ちません。本講では、犯罪心理学の視点から、犯罪や非行の発生場面について学び、さらに、その犯罪や非行の被害に遭われた方々の心理を学びます。犯罪被害者等を出さないために、皆さん自身が「犯罪の抑制者」としてどんな役割を担えるかについて考えてみましょう。 木野和代: 怒りのメカニズム 私たちはなぜ、どんなときに怒りを感じるのでしょうか? 怒りは一般によくない感情というように考えられ、表に表すのをためらいがちですが、伝えることでお互いの関係をよりよいものにしていける可能性はないのでしょうか。自分や他者の怒りについての理解を深め、向き合い方を考えてみましょう。		
テキスト・教材・参考書等	テキストはありません。参考資料がある場合は講義を実施する際に配布致します。		
履修上の注意	講義で扱われる内容とこれまでの経験とを照らし合わせることで、理解が深まり、心理学を日常の中でどのように活かすことができるのかを考えることができますと思います。		
高校生へのメッセージ等	心理学は大学で学ぶことができる学問の中でも人気のある分野です。心理学は人を対象とした学問であり、さまざまな領域に広がっています。大学に入る前にどのようなことを学ぶことができるのか心理学の魅力を知る機会を持っていただき、興味を広げることができればと思います。		

(様式2)

## 令和6年度公開授業・公開講座用シラバス

		科目No.	51
大学・短大名	宮城学院女子大学	学部・学科	学芸学部・音楽科
授業科目名	高校生のための音楽史入門	担当教員名	越懸澤 麻衣
開講期間	7/6(1日間)	開講曜日・時間	土:14:00-15:30
受入人数	30	会場	宮城学院女子大学
公開授業・公開講座の形態(①~③から1つ選択し○をつける) ②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等	①対面のみ	②オンラインのみ	③対面・オンラインどちらでも可
授業の目標等	音楽を聴いて楽しむだけでなく歴史的に考察することで、音楽に対する認識を深める。		
授業内容・計画等	ベートーヴェンが作曲した《ピアノ・ソナタ第14番嬰ハ短調》作品27-2(月光ソナタ)を例に、まず「ソナタ」というジャンルについて説明する。その後、この曲が人々にどう聴かれてきたかをみてゆく。		
テキスト・教材・参考書等	特になし。		
履修上の注意			
高校生へのメッセージ等	音楽は、演奏したり聴いたりするのももちろん楽しいですが、歴史的な背景を考えるのも面白いものです。「月光ソナタ」は耳にしたことのある人が多いと思いますが、この曲にはどのような歴史的意義があるのでしょうか。ぜひ一緒に学んでみましょう。		